

オーディオミキサー

取扱説明書 工事説明付き

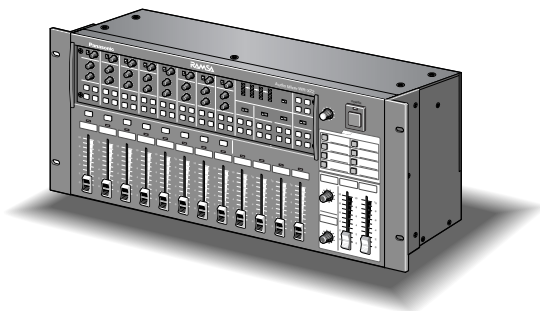
品番 **WR-X22**

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

RAMSA



上手に使って上手に節電

もくじ

商品概要	2
付属品をご確認ください。	2
安全上のご注意	3
<hr/>	
使用上のお願い	5
各部の名前と働き	
■前面	6
■入出力コネクター部	9
操作のしかた（基本操作）	11
操作のしかた（専門的な操作）	12
パターンの使いかた	14
■パターンの設定、変更方法	14
■登録したパターンの保護について	14
■パターン制御の使用方法	14
<hr/>	
工事を行う前に	16
接続のしかた	16
■接続例1～標準システム	16
■接続例2	18
■システムラック（WL-R02）への取り付け例	19
■接続ケーブルについて	19
■接続ケーブル例	20
電源制御について	21
パターン制御について	22
設置のしかた	24
<hr/>	
仕様	26
ブロックダイアグラム	27
レベルダイアグラム	28
パターン設定シート	29
保証とアフターサービス	30

はじめに

取扱説明

工事説明

仕様・その他

商品概要

本機は、モノラル入力8系統、ステレオ入力4系統、さらにパターン制御8パターンを有する、4バスラックマウント用オーディオミキサーです。

●パターン制御

各入力ごとに、4系統の出力端子を個別に「ON/OFF」できます。

これらの組み合わせを8種類までパターン登録でき、スイッチを押すだけで呼び出すことができます（パターン制御機能）。

パターン制御機能を使えば、催し物の種類による最適設定の変更、イベントの進行に合わせた演出などが可能となります。

●外部からの制御、外部機器の制御

パターン制御機能を利用してデジタルマルチプロセッサ-WZ-DM35など外部機器のパターンを呼び出すことができます。また、外部のスイッチで本機のパターンを呼び出すこともできます。さらに本機の電源スイッチ操作により他機器の電源を制御することもできます。（別売りの電源制御ユニットが必要）

●ファンタム電源内蔵

モノラル入力のうち2系統に、コンデンサーマイク用のファンタム電源を内蔵しています。

●入カイクライザー

各モノラル入力には全系統に高音、低音独立のイクライザーを装備しています。

●誤操作防止用アクリルカバー

通常使用しない操作部にアクリルカバーを取り付けることによって、誤操作を防止します。

アクリルカバーを取り付けるとパターン選択スイッチと、フェーダーのみ操作可能となります。

●ジャックパネルは背面、上面に移動可能

ラックマウント時に、ジャックパネルの取り付け位置を背面または上面に変更できます。

付属品をご確認ください。



誤操作防止アクリルカバー	1	取扱説明書（本書）	1
リモートコネクター	1	保証書	1
リモートコネクター用圧着ピン	6		
ラックマウントねじ（M5×12）	4		

安全上のご注意



必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。







■表示内容を見逃して誤った使い方をしたとき生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

工事は販売店に依頼する  工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。 ● ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。	異物を入れない  水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。 禁止 ● ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。	分解しない、改造しない  火災や感電の原因となります。 分解禁止 ● 修理や点検は、販売店にご連絡ください。
異常があるときは、すぐ使用をやめる  煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因となります。 ● ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。	不安定な場所に置かない  落下などでけがの原因となります。 禁止	ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない  感電の原因となります。 ぬれ手禁止

安全上のご注意

必ずお守りください

電源コードは、必ずプラグ本体を持って抜く



コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない (傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、 ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない)



傷んだまま使用すると感電・ショート・火災の原因となります。

禁止

- コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

機器の上に水などの入った容器を置かない



水などが中に入った場合、火災や感電の原因となります。

水ぬれ禁止

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

⚠ 注意

落とさない、強い衝撃を与えない



けがや火災の原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所に設置しない



火災や感電の原因となります。

禁止

指定以外の装置を接続しない



けがなどの原因になることがあります。

禁止

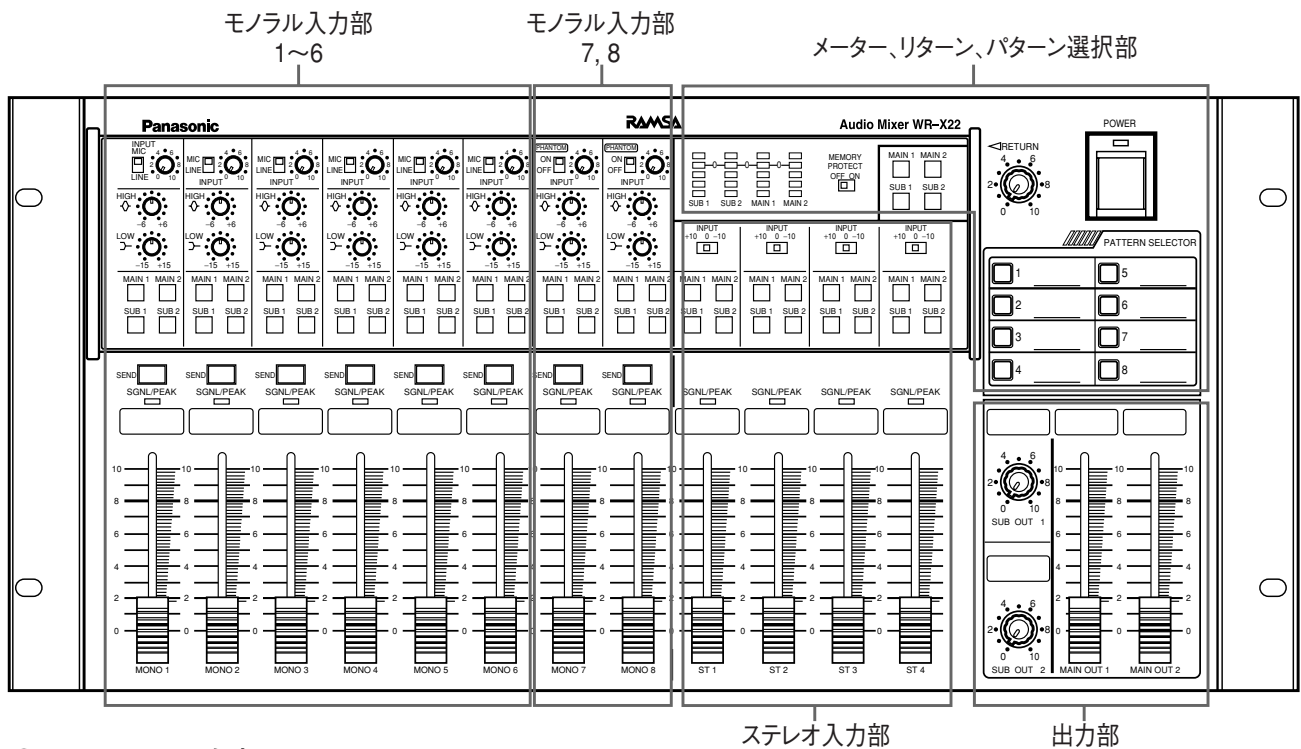
コネクタの抜き差しは電源を切ってから行う



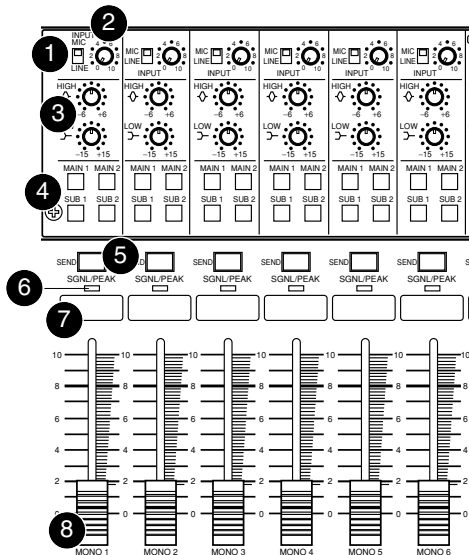
クリック音でスピーカーが破損する恐れがあります。

各部の名前と働き

■前面



●モノラル入力部 1~6



① レベルスイッチ [INPUT MIC/LINE]

入力する信号のレベルにより選択します。マイク接続時はMIC（マイク）、その他の機器の接続時にはLINE（ライン）に設定します。

ご注意

レベルスイッチを切り替えるときには、トリム調節つまみ②を左方向に回しきってからおこなってください。急激な音量増大によりスピーカーの破損の恐れがあります。

② トリム調節つまみ [INPUT 0~10]

入力感度を連続可変します。

MIC選択時：-20~-60dB

LINE選択時：+10~-30dB

入カフェーダー⑧が8目盛り付近の位置で適切な音量が得られるように調節します。

③ イコライザーつまみ [HIGH、LOW]

HIGH、LOWの2ステージイコライザーです。

HIGH：高音の音質調節です。4kHz±6dBのピーキングタイプで主に人の声の明りょう度（聞こえ易さ）を調節します。右に回すほど明りょう度が上がります。

LOW：低音の音質調節で100Hz±15dBのシェルピングタイプ。

④ アサインスイッチ

[MAIN 1、MAIN 2、SUB 1、SUB 2]

4系統のバスラインへの信号の送り出しを選択します。押すと選択され、内蔵照明が緑色に点灯します。再度押すと送り出しが中断され、照明が消灯します。このスイッチの状態の組み合わせを「パターン」と呼び、最大8パターンの登録ができます。

5 センドスイッチ [SEND]

外部に接続したエコーマシンなどへの送出手をON/OFFします。マイクにエコーをかけるときに押します（本機にエコーは内蔵していません）。

6 シグナルピークインジケータ [SGNL/PEAK]

入力信号のレベルに応じて点灯します。クリップレベルの約30dB低い値から緑色に点灯し、クリップレベルの約8dB低い値で赤色に変わります。信号レベルの簡易チェック、トリム調節（トリム調節つまみ②で調節）に便利です。

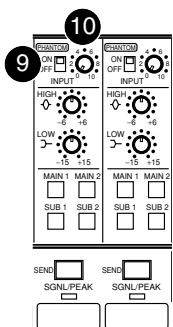
7 表示スペース

入力端子に接続した機器名を書き込んだラベルなどをはり付けるスペースです。

8 入力フェーダー

入力信号の送出レベルを調節します。8目盛り位置で定格レベルとなります。

●モノラル入力部 7,8



9 ファンタム電源スイッチ [PHANTOM ON/OFF]

このスイッチを「ON」にするとファンタム電源（+48V）をコンデンサーマイクに供給します。外部電源仕様のコンデンサーマイクが使えるようになります。

ご注意

- 外部電源仕様のコンデンサーマイクを使用時にだけ「ON」にしてください。
- コンデンサーマイクご使用の際には、コンデンサーマイクの取扱説明書もご覧ください。
- コンデンサーマイクはノイズを防止するために、必ず入力フェーダーを“0”にしてから接続してください。

10 トリム調節つまみ

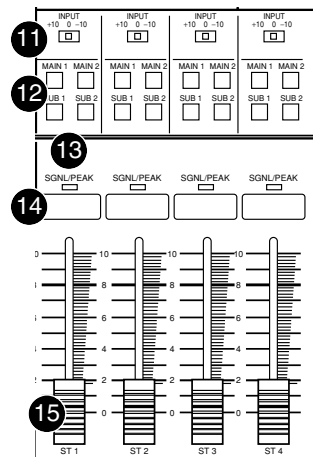
[INPUT 0~10]

入力感度を連続可変します。

MICレベルのみ：-20~-60dB

入力フェーダーが8目盛り付近の位置で適切な音量が得られるように調節します。

●ステレオ入力部 1~4



11 レベルスイッチ [INPUT+10/0/-10]

入力する信号のレベルにより選択します。

入力フェーダー⑮が8目盛り付近の位置で適切な音量が得られるように設定します。

12 アサインスイッチ

[MAIN 1、MAIN 2、SUB 1、SUB 2]

4系統のバスラインへの信号の送り出しを選択します。押すと選択され、内蔵照明が緑色に点灯します。再度押すと送り出しが中断され、照明が消灯します。このスイッチの状態の組み合わせを「パターン」と呼び、最大8パターンの登録ができます。

13 シグナルピークインジケータ [SGNL/PEAK]

入力信号のレベルに応じて点灯します。クリップレベルの約30dB低い値から緑色に点灯し、クリップレベルの約8dB低い値で赤色に変わります。信号レベルの簡易チェック、レベル切り替え（レベルスイッチ⑪で設定）に便利です。

14 表示スペース

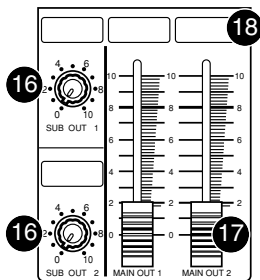
入力端子に接続した機器名を書き込んだラベルなどをはり付けるスペースです。

15 入力フェーダー

入力信号の送出レベルを調節します。8目盛り位置で定格レベルとなります。

各部の名前と働き

●出力部



16 サブ出力調節つまみ [SUB OUT 1、2]

サブ出力1、およびサブ出力2の音量を調節します。サブ出力はモノラル出力です。8目盛り位置で定格レベルとなります。

17 メイン出力フェーダー [MAIN OUT 1、2]

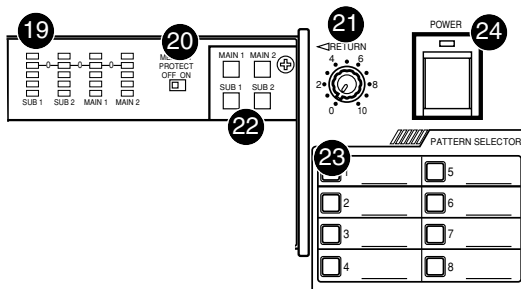
メイン出力1、およびメイン出力2の音量を調節します。メイン出力はそれぞれステレオ出力です。8目盛り位置で定格レベルとなります。

18 表示スペース

出力の系統名を書き込んだラベルなどをはり付けるスペースです。

●メーター、リターン、パターン選択部

19 出力レベルメーター



[SUB 1、SUB 2、MAIN 1、MAIN 2]

各出力のレベルを監視できます。

- SUB1 : サブ1出力
- SUB2 : サブ2出力
- MAIN1 : メイン1出力
- MAIN2 : メイン2出力

“0”位置が点灯するときが定格レベルです。

20 メモリープロテクトスイッチ

[MEMORY PROTECT ON/OFF]

パターン登録内容を誤って変更しないように、パターンの登録内容を保護するスイッチです。通常は「ON（保護状態）」にしておき、登録内容を変更するときのみ「OFF（保護状態解除）」にします。

21 リターンレベル調節つまみ [RETURN]

リターン信号の入力レベルを調節します。外部に接続したエコーマシンからのエコー音量を調節する場合などに使用します。

22 アサインスイッチ

[MAIN1、MAIN2、SUB1、SUB2]

リターン信号の送り出し先を選択します。

点灯（緑色）：リターン信号を送出します。

消灯：リターン信号を送出しません。

このスイッチの状態の組み合わせを「パターン」と呼び、最大8個まで登録できます。

23 パターン選択スイッチ

[PATTERN SELECTOR 1~8]

パターン（アサインスイッチ④、⑫、⑳の組み合わせ）を呼び出します。後押し優先です。メモリープロテクトスイッチ⑳が「OFF」のときはパターンの登録に使用します。

詳しい操作方法は14ページをご覧ください。

スイッチの右側のスペースにはパターンの名前を書いたラベルなどをはり付けてご使用ください。

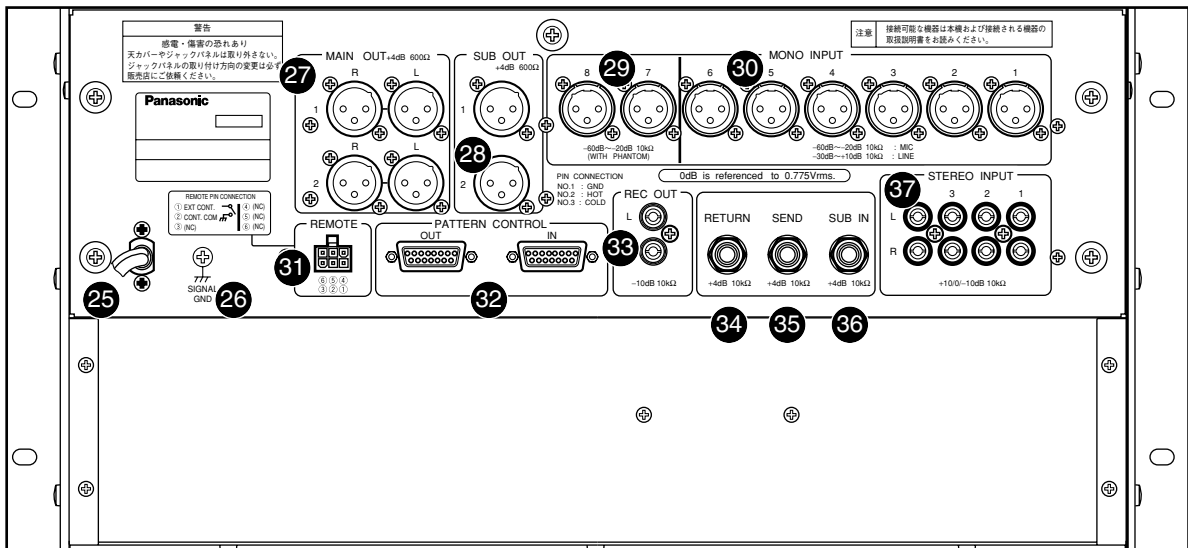
24 電源スイッチ(パワーインジケータ付き)

[POWER]

押すと電源が「ON」になり、再度押すと電源が「OFF」になります。

- 電源が「ON」になるとパワーインジケータが点灯します。
- 電源スイッチを「OFF」にしても電源からは遮断されません。

■入出力コネクタ一部



25 電源コード

AC100V、50Hzまたは60Hzに、必ず遮断装置を介して接続します。

次のいずれかの方法で接続してください。

- (1) 電源制御ユニットWU-L61、WU-L67に接続する。
- (2) 電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）に容易に手が届くこと。
- (3) 接点距離が3.0mm以上有する分電盤のブレーカーに接続する。ブレーカーは保護アース導体を除く主電源の全ての極が遮断できるものを使用してください。

詳しくは販売店にご相談ください。

26 アースねじ [SIGNAL GND]

ラックなどのアースへ接続します。

27 メイン出力コネクタ

[MAIN OUT 1 L/R、MAIN OUT 2 L/R]

本機でミキシングしたメイン出力のコネクタです。

ステレオ : 2回路
出力コネクタ : XLR-3-32タイプ電子
バランス②PINホット
出力レベル : +4dB
適合インピーダンス : 600Ω以上

28 サブ出力コネクタ [SUB OUT 1、2]

本機でミキシングしたサブ出力のコネクタです。

モノラル : 2回路
出力コネクタ : XLR-3-32タイプ
電子バランス②PINホット
出力レベル : +4dB
適合インピーダンス : 600Ω以上

29 モノラル入力コネクタ (7、8)

[MONO INPUT 7, 8]

マイクロホン接続します。また、前面のファンタム電源スイッチ⑨を「ON」にすると、コンデンサーマイク用のファンタム電源（+48V）を供給します（外部電源仕様のコンデンサーマイクが使えるようになります）。

モノラル : 2回路
入力コネクタ : XLR-3-31タイプ
電子バランス②PINホット
入力レベル : -60dB～-20dB
インピーダンス : 10kΩ

ご注意

- ・ファンタム電源は外部電源仕様のコンデンサーマイク使用時にだけ「ON」にしてください。また、コンデンサーマイクは平衡型をお使いください。
- ・コンデンサーマイクご使用の際には、コンデンサーマイクの取扱説明書もご覧ください。

30 モノラル入力コネクタ (1～6)

[MONO INPUT 1～6]

マイクロホンやワイヤレスマイク受信機、モノラルのライン機器が6台まで接続できます。マイク/ラインのレベル切り替えは前面のレベルスイッチ①で行います。

モノラル : 6回路
入力コネクタ : XLR-3-31タイプ
電子バランス②PINホット
入力レベルマイク : -60dB～-20dB
ライン : -30dB～+10dB
インピーダンス : 10kΩ

各部の名前と働き

③① リモート出力コネクタ [REMOTE]

電源制御ユニットWU-L61、またはWU-L67の外部制御端子と接続することによりシステムの電源を一括して制御できます。

ご注意

- ・必ずWU-L61またはWU-L67をご使用ください。
- ・電源制御ユニットをお使いになるときは、お使いになる製品の取扱説明書をよく読んで、その指示にしたがってください。

③② パターン制御入出力コネクタ

[PATTERN CONTROL IN/OUT]

他の機器と接続することにより、接続した機器のパターンを呼び出したり、他の機器から本機のパターンを呼び出すことができます。詳しくは15ページをご覧ください。

IN [入力] : 他の機器から本機を制御するときに使用します。

(メイク接点入力 8系統)

OUT [出力] : 他の機器を制御するときに使用します。

(メイク接点出力 8系統)

③③ 録音出力ジャック [REC OUT L/R]

ステレオカセットレコーダー、MDレコーダーなどに録音できます。メイン1出力フェーダー前の信号を送出します。

ステレオ : 1回路

出力ジャック : PINジャック不平衡

出力レベル : -10dB

インピーダンス : 10kΩ以上に適合

③④ リターン入力ジャック [RETURN]

外部エコーマシンなどの出力信号を入力します。

モノラル : 1回路

入力ジャック : フォーンジャック不平衡

入力レベル : +4dB

インピーダンス : 10kΩ

③⑤ センド出力ジャック [SEND]

外部エコーマシンなどへ信号を出力します。

モノラル : 1回路

出力ジャック : フォーンジャック不平衡

出力レベル : +4dB

インピーダンス : 10kΩ以上に適合

③⑥ サブ入力ジャック [SUB IN]

サブミキサーの出力信号などを接続します。

モノラル : 1回路

出力ジャック : フォーンジャック不平衡

出力レベル : +4dB

インピーダンス : 10kΩ以上に適合

③⑦ ステレオ入力ジャック (1~4)

[STEREO INPUT1~4 L/R]

CDプレーヤー、カセットデッキ、MDプレーヤー等を4系統まで接続できます。入力感度の切り替えは前面パネルのレベルスイッチ①で行います。

ステレオ : 4回路

入力コネクタ : PINジャック不平衡

入力レベル : +10dB/0dB/-10dB

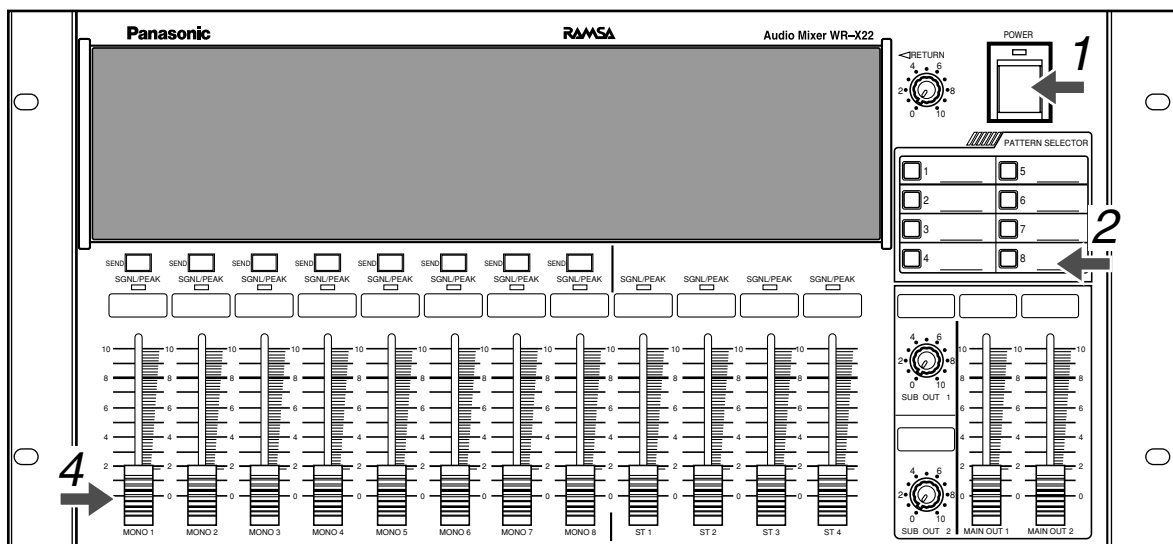
インピーダンス : 10kΩ

操作のしかた（基本操作）

ここでは通常的使用方法である基本的な操作について説明します。ただし、あらかじめ全ての機器が接続され、設定が完了している必要があります。

通常、アクリルカバー内部は使用しません。外部に出ている部分のみを操作します。

操作を始める前に、各フェーダーやつまみを“0”にしてください。



1. 電源を入れる。

前面の電源スイッチを押します。本機の電源が入り（パワーインジケータ点灯）、同時にシステム全体の電源が入ります。

2. パターン選択スイッチを押す。

使用する内容に合った本機前面のパターン選択スイッチを押します。
押したスイッチが黄色に点灯します。

これで、音を出す準備が完了しました。

3. マイクで話す、または各機器をスタートする。

マイクに向かって話す、またはCDプレーヤーなどを演奏状態にします。

4. 各フェーダーを8目盛り付近まで徐々に上げる。

スピーカーから音がでます。

こんなときには？

● 話す人や、曲が変わると音の大きさが変わる場合は？

話す人の声により音量に差があったり、曲により音量に差がある場合には、該当する各入力フェーダーの位置を微調節し、適切な音量に調節します。

上側（10目盛り側）にすると音が大きく、下側（0目盛り側）にすると音が小さくなります。

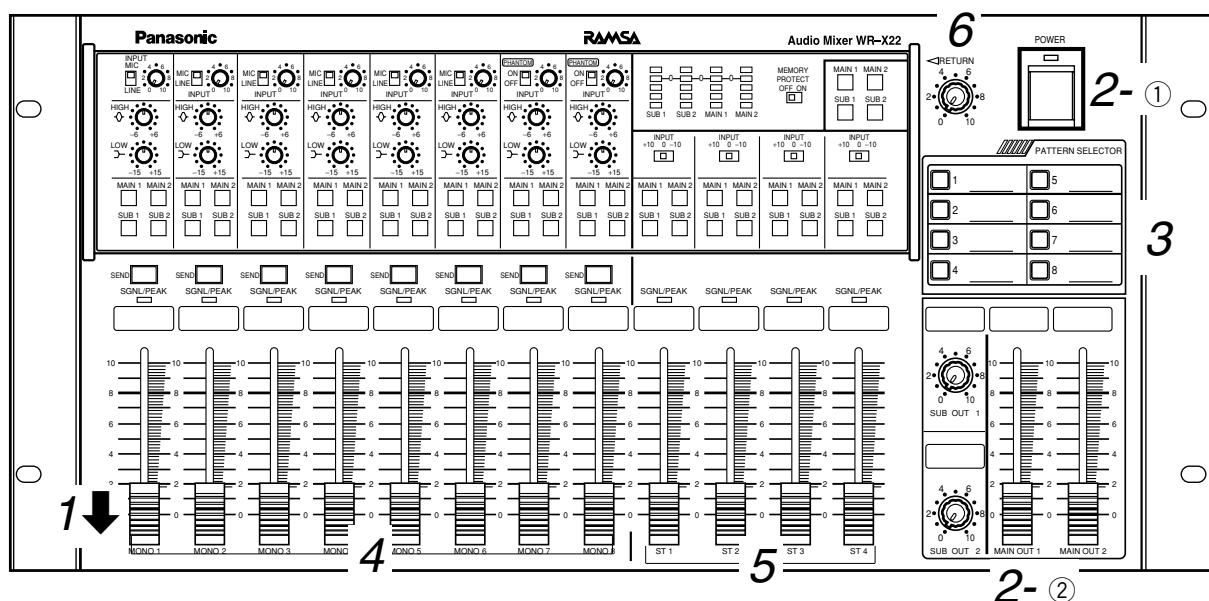
● マイクの音にエコーをかけたい場合には？（外部にエコーマシンが接続されている場合のみ）エコーをかけたいマイク入力のセンドスイッチを押します。押しすとエコーがかかります。もう一度押しすとエコー音が切れます。

ご注意

- ご使用前に設定が完了しているか、設置担当の方にご確認ください。
- 詳しい設定方法は別項に記載しています。アクリルカバー内の各種設定、およびパターンの設定があらかじめ完了している場合には、上記の基本的な操作で使用できます。

操作のしかた（専門的な操作）

ここでは本機の機能をフルに生かした専門的な操作について説明します。
前面操作部のアクリルカバーをドライバーで外し、各種設定および操作を行います。



1. 操作を始める前に!

クリックノイズによるスピーカーの破損を防止するため、音量調節つまみ、フェーダー、トリム調節つまみを全て“0目盛り”にします。

2. 電源をONにする。

- ①本機前面の電源スイッチ②④を押します。
本機の電源が入ります。
メモ~~~~~
電源ON/OFF時に各部LEDやレベルメーターなどが点灯することがあります。異常ではありません。

- ②メイン出力フェーダー①⑦、サブ出力調節つまみ⑥を8目盛り程度に設定します。
メモ~~~~~
全体の音量は接続しているパワーアンプの音量調節器で設定します。
本機の各フェーダーを8目盛り付近に設定し、出力レベルメーターが0dB付近まで点灯するように設定すると、ノイズ、ひずみなどの面で有利に働きます。

3. パターンを呼び出す。

- あらかじめパターン登録してある場合には、新たに設定する条件に近い登録済みパターンを呼び出します。
- ①パターン選択スイッチ②③を押し、必要なパターンを呼び出す。
 - ②呼び出されたパターンを基に、必要に応じて4~6の操作を行ってください。

4. モノラル入力部の操作

- ①モノラル入力1～6については接続した入力機器の出力レベルに合わせます。また、レベルスイッチ①を「MIC」または「LINE」に切り替えます。
- ②モノラル入力7、8にファンタム電源が必要なマイクが接続する場合は、マイクを接続する前にファンタム電源スイッチ⑨を「ON」にします。

ご注意

- ファンタム電源は外部電源仕様のコンデンサーマイク使用時にだけ「ON」にしてください。
- ご使用時には接続するコンデンサーマイクの取扱説明書も合わせてご覧ください。
- 外部電源仕様以外のコンデンサーマイクを使用する場合は、必ず「OFF」にしてください。「ON」にすると故障の原因となります。

- ③次にトリム調節つまみ②を右方向に徐々に回し、シグナルピークインジケータ⑥の緑色が点灯し、赤色が点灯しない程度に設定します。
- ④各入力チャンネルごとにアサインスイッチ④をON/OFFして信号の送出先を決めます。
- ⑤入力フェーダー⑧を徐々に上げ選択した送出先に信号を送ります。各入力の音量調節はフェーダーを8目盛り程度にし、トリム調節つまみ②を再調節することで行うのが一般的です。
- ⑥イコライザーつまみ③により音質の調節ができます。

HIGH : 高音の音質調節で主に人の声の明りょう度（聞こえ易さ）を調節します

LOW : 低音の音質調節です
- ⑦各入力のセンドスイッチ⑤を押すことによりセンド出力ジャック⑮に信号が出力されます。外部エコーマシンなどに信号を送出し、エコーをかけるときなどに使用します。

5. ステレオ入力部の操作

- ①接続した入力機器の出力レベルに合わせ、レベルスイッチ⑪を切り替えます。シグナルピークインジケータ⑬の緑色が点灯し、赤色が点灯しない程度に設定します。
- ②各入力チャンネルごとにアサインスイッチ⑫を入切して信号の送出先を決めます。
- ③入力フェーダー⑮を徐々に上げ選択した送出先に信号を送ります。各入力の音量調節はフェーダーを8目盛り程度にし、レベルスイッチ⑪を再設定します。

6. リターン部の操作

接続するエコーマシンなどの取扱説明書も合わせてお読みください。

- ①リターンアサインスイッチ⑳をON/OFFしてリターン信号の送出先を決めます。
- ②エコー音などの音量をリターンレベル調節つまみ㉑で調節します。

パターンの使いかた

ここでは本機の特長の一つであるパターンの登録方法、および使いかたについて説明します。

- パターンを設定・変更を行う場合、前面操作部のアクリルカバーをドライバーで外してください。パターンの呼び出しはアクリルカバーを装着した状態で行うことができます。
- 登録できるパターンの数は8パターンです。

■パターンの設定、変更方法

- 本機の各入力ごとのアサインスイッチのON/OFFの組み合わせをパターンといいます。
 - 本機を使用するシステム、および使用目的によりパターンの設定内容を決め、29ページの「パターン設定シート」などに記入しておきます。
- ①メモリープロテクトスイッチ⑳を「OFF」にする。
パターン登録ができる状態になります。
 - ②「パターン設定シート」に基づき、各入力ごとの4系統出力へのアサインスイッチ④⑫㉒を設定する。
 - ③登録するパターンの番号のパターン選択スイッチ㉓を約2秒間押し続ける。
全てのパターン選択スイッチ部が同時に点灯します。パターン登録完了です。
 - ④②と③の操作を繰り返し、必要なパターンを登録します。
 - ⑤既に登録されているパターンに新たなパターンを登録すると、前のパターンは消去され新しいパターンに変わります。
 - ⑥必要なパターン登録が終了したらメモリープロテクトスイッチ⑳を「ON」位置にする。
これでパターン登録ができない状態になり、誤操作によるパターンの消去、変更を防止します。
 - ⑦全ての設定終了後、前面操作部アクリルカバーを元通り取り付け、誤操作を防止します。

■登録したパターンの保護について

登録したパターンは次に示す2つの方法で誤操作による変更を防止できます。

- ①メモリープロテクトスイッチ⑳を「ON」にする。
「ON」にするとパターンの登録や変更はできなくなります。
- ②前面の操作部にアクリルカバーを取り付ける。
アクリルカバーを取り付けると、メモリープロテクトスイッチ⑳に触れなくなります。

■パターン制御の使用方法

●本機の制御

- あらかじめ登録されているパターン（入力ごとのアサインスイッチの組み合わせ）を、パターン選択スイッチで呼び出すことができます。
 - 入力フェーダーの後で信号をON/OFFしますので、使用しない入力のフェーダーを上げたままでもノイズの少ないミキシングができます。
 - 複数の出力への信号送付のON/OFFができます。複数の部屋への送付切り替え、モニタースピーカーからの出力ON/OFFなどを行うことができます。
- ①呼び出したい番号のパターン選択スイッチ㉓を押す。
呼び出された番号のパターン選択スイッチ部が点灯し、同時に登録されている入力ごとのアサインスイッチが点灯します。

●他の機器の制御

- マイク接点制御によるパターン制御に対応した接続機器のパターンを呼び出すことができます。

対応機器：デジタルマルチプロセッサWZ-DM35

デジタルイコライザー WZ-DE45 など

詳しくは販売店にご確認ください。

- 催し物内容などにより、信号の送出先切り替えをはじめ、ディレイタイム変更による音像定位位置の変更、イコライジング特性の変更、送出先ごとのレベルの変更などができます。

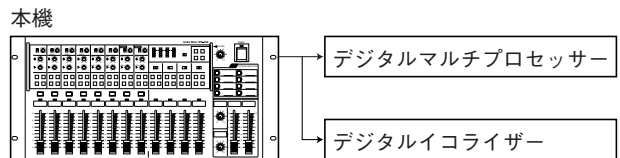
- ①本機のパターン制御入出力コネクタ③②の出力コネクタ（「OUT」）と、制御される機器のパターン制御入力コネクタを接続する。

接続のしかたについては17, 18, 22ページをご覧ください。

- ②接続した機器に、あらかじめパターンを登録する。

- ③本機のパターン選択スイッチ②③を押す。

本機のパターンと接続した機器のパターン（パターン選択スイッチに対応したパターン）を呼び出します。



●他の機器からの制御

- 外部のマイク接点により本機のパターンを呼び出すことができます。
- リモートコントロール用スイッチボックス、パソコンからのマイク接点出力などを利用します。

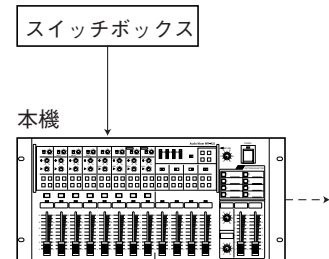
接続のしかたについては23ページをご覧ください。

- ①外部のマイク接点出力を本機のパターン制御入出力コネクタ③②の入力コネクタ（「IN」）に接続する。

- ②外部のマイク接点をメイクする。

対応した本機のパターンが呼び出されます。

- ③更に、本機のパターンが呼び出されたときに、他の機器のパターンを制御することもできます（前述の「他の機器の制御」参照）。



ご注意

- パターンを呼び出した後に、他のパターンの呼び出しを行うと、後から呼び出したパターンに切り替わります。
- 外部から本機のパターンを呼び出した場合も同様に、後から本機で他のパターンの呼び出しを行うと、後から呼び出したパターンに切り替わります。

●その他の応用例

- 上記内容を応用し本機を2台用いてメインミキサー、サブミキサーとして使用できます。

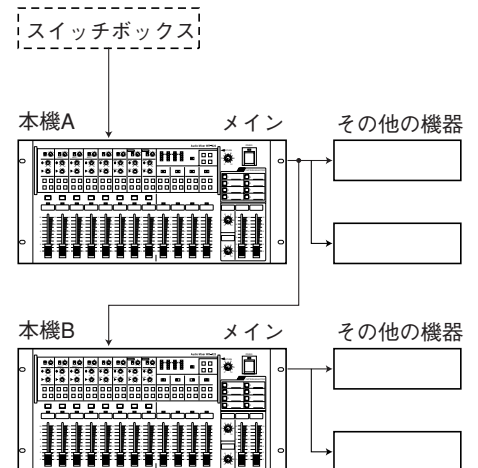
- メインミキサーのパターンを呼び出すことによりサブミキサーのパターンも同時に変わります。

- さらにサブミキサーに接続している他の機器のパターンを呼び出すこともできます。

接続のしかたについては18ページ、23ページをご覧ください。

ご注意

- パターン呼び出しはすべて後から呼び出したパターンに切り替わります。
- メインミキサーからサブミキサーのパターンを呼び出した場合でも、後からサブミキサーで違うパターンを呼び出せば、サブミキサー以後の機器は後から呼び出したパターンに変わります。



工事を行う前に

ご注意

本機の工事は必ず販売店に依頼してください。

工事を行う前に必ず電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、安全上のご注意をよく読んで、その指示にしたがってください。

●電源の接続

電源コードは必ず遮断装置を介した次のいずれかの方法で接続してください。

- (1) 電源制御ユニット (WU-L61、WU-L67) に接続する。
- (2) 電源コンセントの近くに設置し、遮断装置 (電源プラグ) に容易に手が届くこと。
- (3) 接点距離が3.0mm以上有する分電盤のブレーカーに接続する。ブレーカーは保護アース導体を除く主電源の全ての極が遮断できるものを使用してください。

●本機の設置場所は

- 直射日光の当たるところや温風の吹き出し口の近くはさけてください。また、湿気やほこり、振動の多い場所に設置すると故障の原因となります。
- トランス、調光器、映像機器、CRTモニターなどからできるだけ離してください。誘導ノイズを受ける恐れがあります。

●ラックにマウントするときは

ラック内の温度が+45℃以上にならないようにしてください。内部の部品に悪影響を与え故障の原因となります。

●背面アース端子を接地してご使用ください。

接地しないと誘導ノイズを受ける恐れがあります。

接続のしかた

■接続例 1 ～標準システム

本機による他機器のパターン制御 (宴会場、結婚式場、会議室、講義室、体育館など)

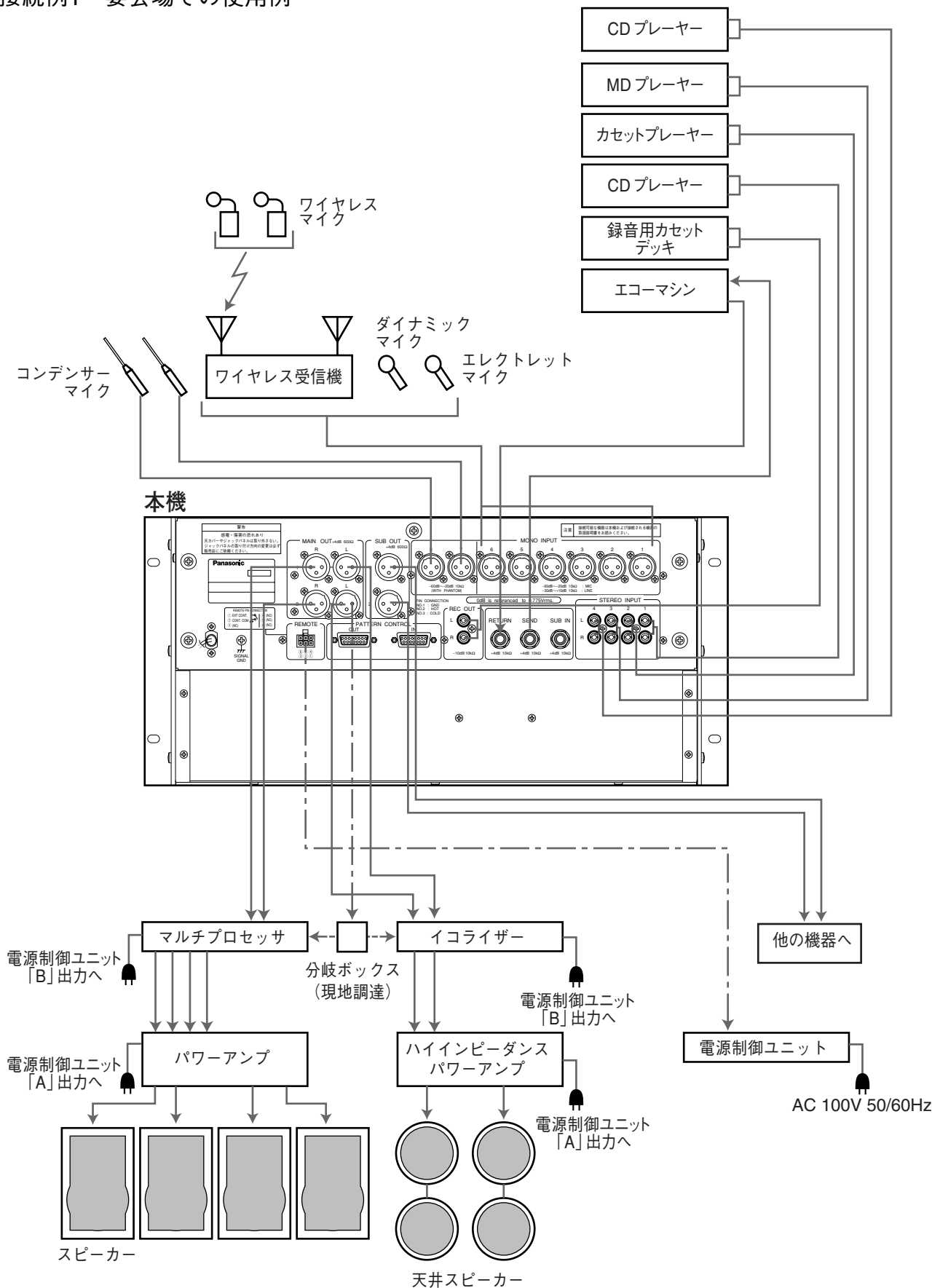
この接続ではイベントの内容、またイベントの進行に合わせて本機のパターン選択スイッチを操作するのみで、あらかじめ決めてある通りに、マイクのON/OFFや音の定位方向、イコライジング特性などを変えることができます。

- 本機からシステム全体の電源をON/OFFできます
- パターン制御機能を利用し、本機のパターンを呼び出すと同時に、接続した他機器のパターンを呼び出します。

ご注意

- 本機をご使用になる前に、あらかじめ各機器にパターンを登録しておく必要があります。
- 接続に際しては各機器の取扱説明書、工事説明書もお読みください。
- 音声入出力線は必ずシールド線をご使用ください。
- パターン制御線は必ず一括シールドケーブルをご使用ください。
- スピーカー線と入力線は近づけないでください。近づけると機器の動作が不安定になり、発振する場合があります。

接続例1～宴会場での使用例



工事説明

接続のしかた

■接続例 2

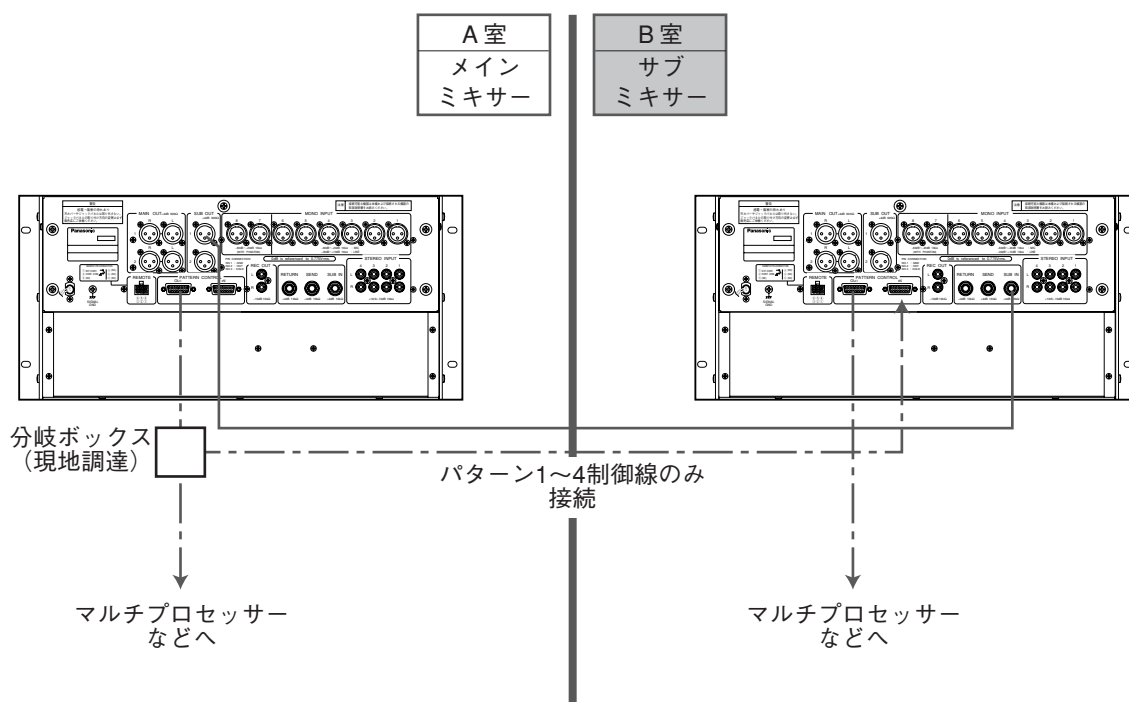
本機を2台使用した接続（分割使用宴会場など）

この接続では、分割宴会場の一体使用などの際に、パッチ盤のつなぎ替えや複雑な操作をすることなく、分割／一体の設定に変更できます。

- 本機のパターン呼び出しは後から呼び出したパターンに切り替わります。メインミキサーでパターンを呼び出した後、サブミキサーで異なったパターンを呼び出すと、サブミキサー以降はサブミキサーで呼び出したパターンとなります。
- メインミキサー、サブミキサーのパターン数はそれぞれ8個です。この例では一体使用時にそれぞれ1～4のパターンを使用し、分割使用時にそれぞれ5～8のパターンを使用する例を記載しています。

ご注意

- 本機をご使用になる前に、あらかじめパターンを設定、登録しておく必要があります。
- 接続に際しては各機器の取扱説明書、工事説明書もお読みください。
- 音声入出力線は必ずシールド線をご使用ください。
- パターン制御線は必ず一括シールドケーブルをご使用ください。
- スピーカー線と入力線は近づけないでください。近づけると機器の動作が不安定になり、発振する場合があります。

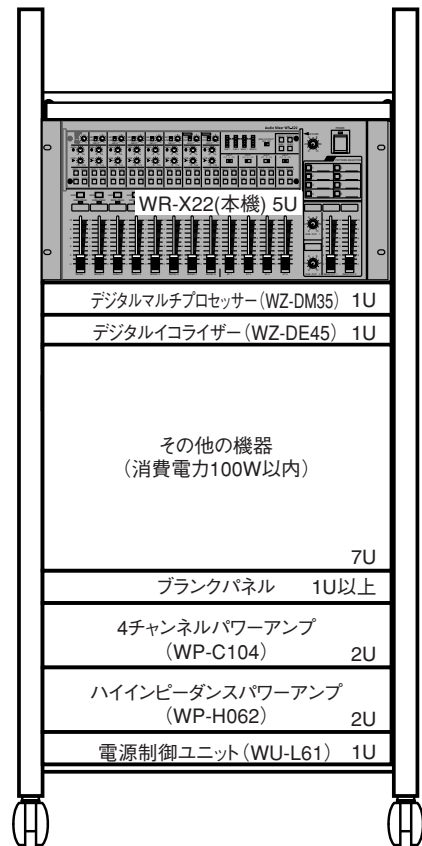


■ システムラック (WL-R02) への取り付け例

取り付けかたの詳細は24～25ページをご覧ください。

● ご注意

- ラック内の温度が+45℃を超えないようにしてください。内部の部品に悪影響を与え、故障の原因となります。
- パワーアンプの上にブランクパネル (1U以上) を必ず取り付けてください。
- ラックに収納する機器の取扱説明書を合わせてお読みください。また、その指示にしたがってください。
- ラック収納時は、ラック内の配線が活電部やとがった部分に触れないように束線してください。

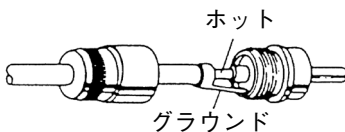


例：接続例1の構成をラックに収納した場合

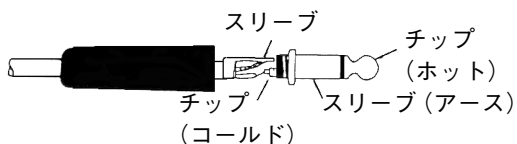
■ 接続ケーブルについて

● RCAピンプラグ (入力と出力)

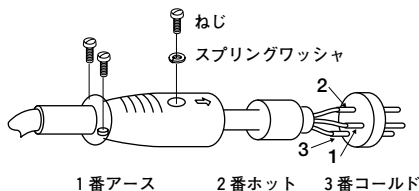
下図のように単芯シールド線を接続します。



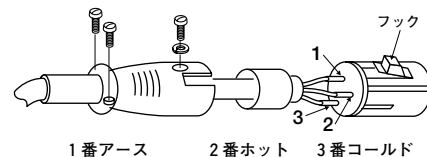
● 大形単頭プラグ



● キャノンタイプコネクタ (XLR-3-12C相当)



● キャノンタイプコネクタ (XLR-3-11C相当)



● ご注意

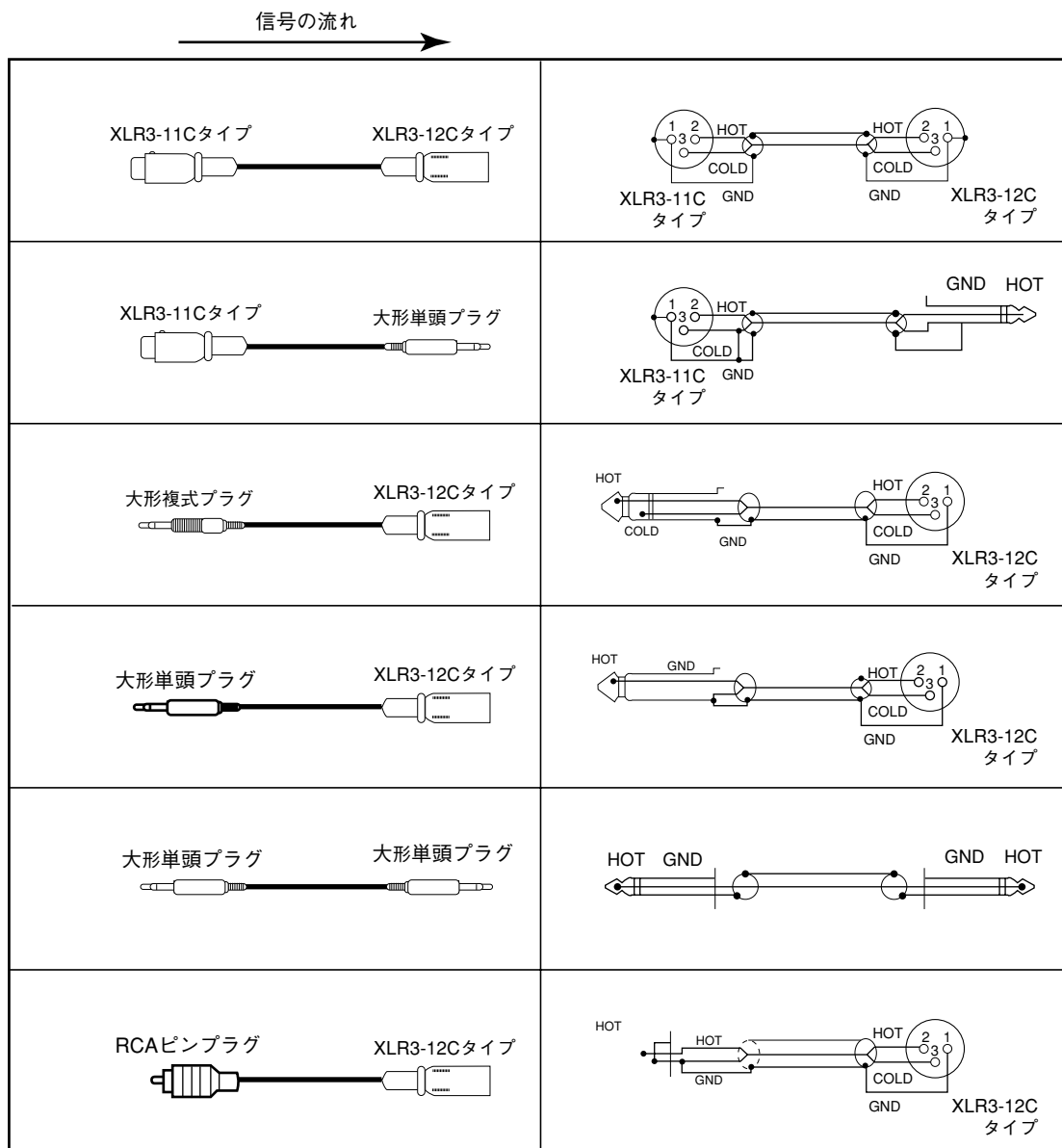
- 接続ケーブルが長くなる場合は誘導ノイズに強い4E6などの4芯^{しん}燃^りシールド線をお使いください。配線はケーブルの青と青をホット端子に、白と白をコールド端子に、シールドをアース端子に接続します。
- キャノンタイプコネクタは接続する機器のホット、コールドのピン番号を確認して、接続してください。

接続のしかた

■接続ケーブル例

ご注意

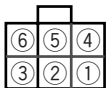
- 本機のXLRコネクターは2番ピンがホットです。3番ピンがホットの機器を接続する場合、本機の2番ピン（3番ピン）を相手の3番ピン（2番ピン）に接続してください。



電源制御について

本機背面のリモート出力コネクタ③を利用して電源制御を行うことができます。

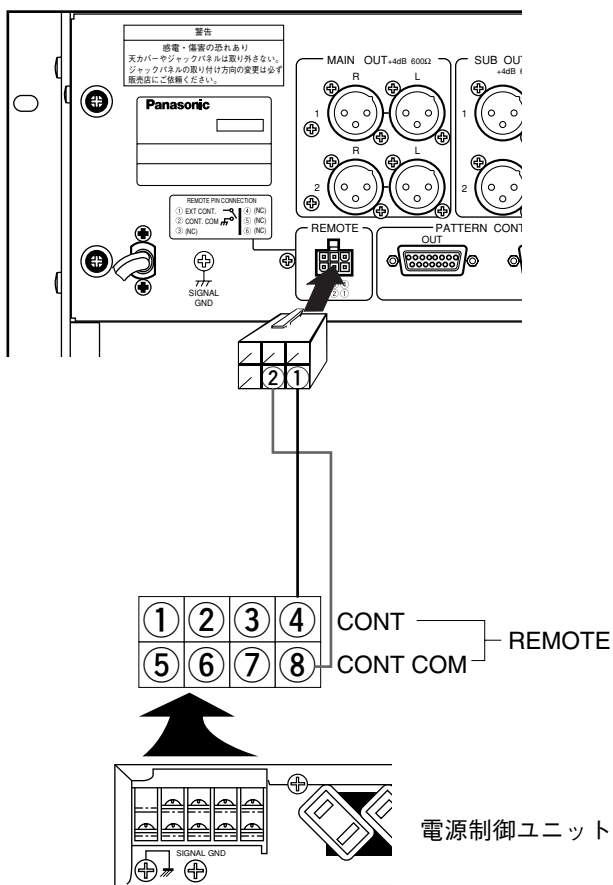
●ピン配置



ナイロン6ピンコネクタ
(リモコンコネクタ付属)

① [EXT.CONT]	制御出力	— 無電圧メイク接点出力
② [CONT.COM]	コモン	
③ [NC]	(非接続)	— 接続しないでください。
④ [NC]	(非接続)	
⑤ [NC]	(非接続)	
⑥ [NC]	(非接続)	

●電源制御ユニットとの接続



- 電源制御ユニットは必ずWU-L61、またはWU-L67を使用してください。
- 本機の電源スイッチのON/OFFで電源制御ユニットの電源をON/OFFできます（ただし、電源制御ユニットの電源スイッチが「OFF」状態のとき）。
- 本機の電源コードは、電源制御ユニットの「UNSWITCHED」に接続してください（常時電源が供給できるようにしておきます）。

ご注意

- 電源スイッチのON/OFFは本機側で行ってください。
- 電源制御ユニットWU-L61(またはWU-L67)側から電源スイッチのON/OFFを行う場合、下記の注意が必要です。
 - 電源制御ユニットから本機の電源スイッチのON/OFFはできません。
 - 電源制御ユニットの電源スイッチを「ON」にした場合は、本機から電源制御ユニットの電源のON/OFFはできません。
 - 電源制御ユニットの電源スイッチをOFFにし、スイッチプロテクター（電源制御ユニット付属）を電源制御ユニットのスイッチに取り付けて使用することをお勧めします。

●電源制御用線材について

電源制御用線材には以下の線材をご使用ください。

線種：ワゴンのように常時移動をする場合には断線の発生しにくい「より線」を使用してください。

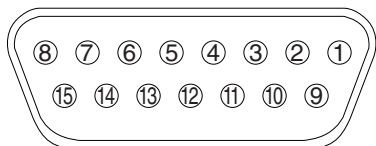
線径：AWG22(0.32mm²)以上

長さ：10m以下

パターン制御について

パターン制御入出力コネクタ⑫を利用して他のパターン制御対応機器と接続してパターン制御を行うこともできます。

●ピン配置



15ピンD-subコネクタ

●推奨コネクタ

オス：OMRON XM2A-1501

フード：OMRON XMS-1511

●パターン制御用線材について

パターン制御用線材には以下の線材をご使用ください。

線種：多芯の一括シールド線を使用します。

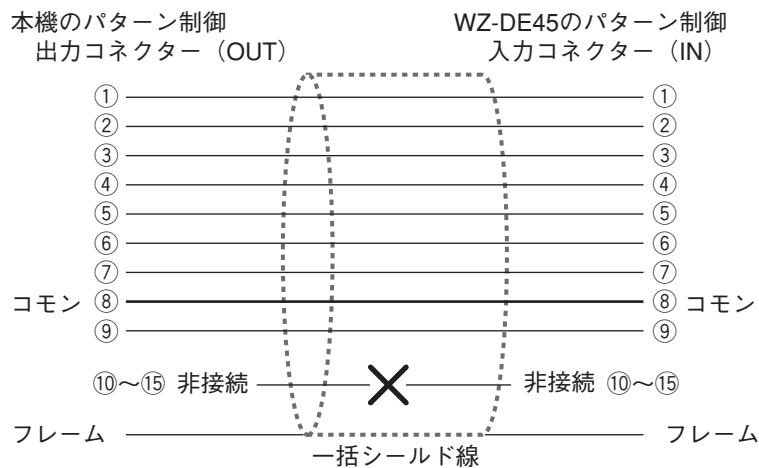
長さ：10m以下

パターン制御入力コネクタ [IN]	パターン制御出力コネクタ [OUT]
①パターンNo.1入力	①パターンNo.1出力
②パターンNo.2入力	②パターンNo.2出力
③パターンNo.3入力	③パターンNo.3出力
④パターンNo.4入力	④パターンNo.4出力
⑤パターンNo.5入力	⑤パターンNo.5出力
⑥パターンNo.6入力	⑥パターンNo.6出力
⑦パターンNo.7入力	⑦パターンNo.7出力
⑧コモン	⑧コモン
⑨パターンNo.8入力	⑨パターンNo.8出力
⑩NC(非接続)	⑩NC(非接続)
⑪NC(非接続)	⑪NC(非接続)
⑫NC(非接続)	⑫NC(非接続)
⑬NC(非接続)	⑬NC(非接続)
⑭NC(非接続)	⑭NC(非接続)
⑮NC(非接続)	⑮NC(非接続)
フレームシールド	フレームシールド

制御入力条件	制御出力条件
メイク時の抵抗100Ω以下	フォトプラオープンコレクタ出力
必要容量1mA	接点容量最大DC30V10mA
並列接続用ダイオード内蔵	

●デジタルイコライザWZ-DE45、デジタルマルチプロセッサWZ-DM35との接続

- 本機は上記機種のパターン制御入力1~8にそのまま対応しています。9~12のパターンには対応しません。
- 上記機種を接続する場合、最大10台まで並列に接続して同時に制御できます。



●分岐ボックス（現地調達）について

パターンを制御する機器を複数台接続する場合、各信号線を並列に接続した分岐ボックスが必要です。

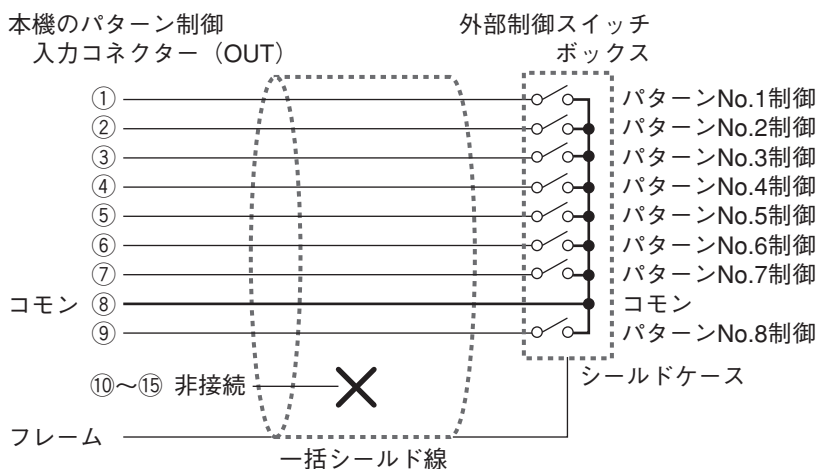
●外部制御スイッチとの接続

- 外部制御スイッチは必ず金属ケースに納め、ケースをシールドしてください。
- スイッチはノンロックタイプを使用してください。

ご注意

最後に呼び出したパターンが優先されます。

例えば、外部スイッチで本機のパターンを呼び出した後に、本機で他のパターンを呼び出すと、本機で呼び出したパターンで制御が行われます。



●本機同士の接続

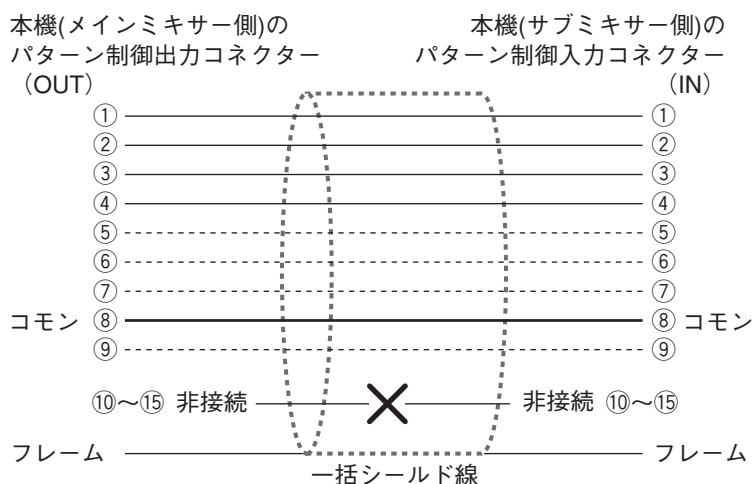
- 本機同士の接続も上記例の接続と同様、パターン制御の出力と入力を接続します。
- メインミキサーのパターン呼び出しに応じてサブミキサーのパターンが呼び出されます。

ご注意

●分割使用可能な宴会場などでメイン/サブミキサーとして使用する場合、全ての制御線を接続すると、分割使用時に不都合が生じます(メインミキサーでパターンの呼び出とサブミキサーのパターンが呼び出される)。

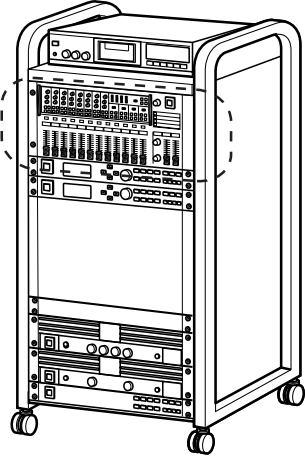
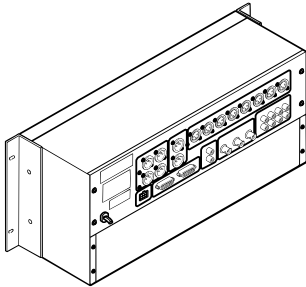
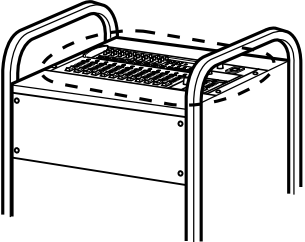
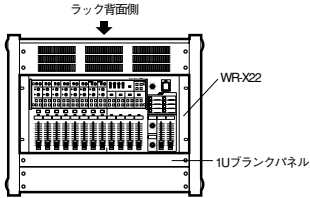
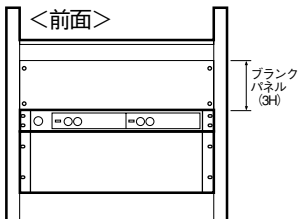
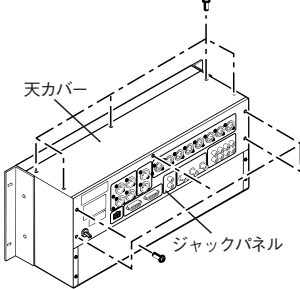
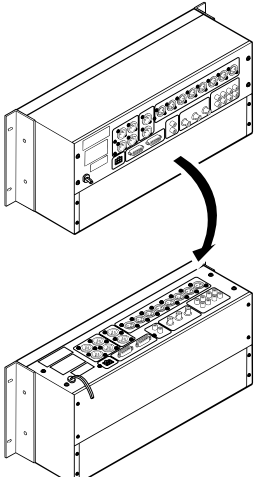
●この不都合を避けるためには一部のパターンに対応した制御線(例えばパターン1~4)だけを接続し、他は非接続とします。

これにより一体使用時には接続したパターンで運用し、分割使用時には非接続のパターンで運用できます。

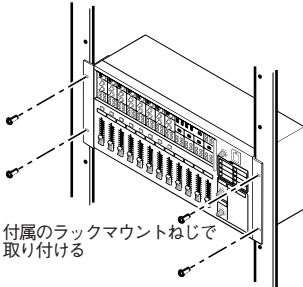
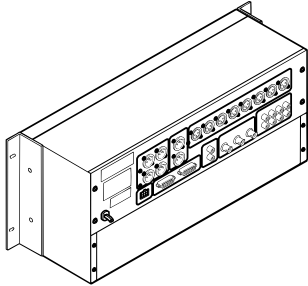
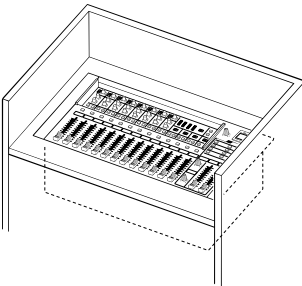
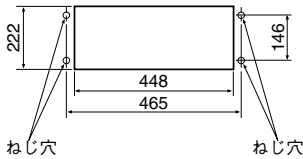


設置のしかた

■システムラック (WL-R02) に取り付ける場合

取り付け位置	取り付かた	入出力コネクタ部の位置	注意事項
<p>1.前面に取り付ける。</p> 	<p>付属のラックマウントねじ (M5×12) 4本で取り付けます。 (WL-R02に付属のねじで取り付けることもできます。)</p>	<p>出荷状態 (背面) のまま。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 熱による故障やノイズなどの悪影響の原因となりますので、次に示す機器には隣接して取り付けないでください。 パワーアンプ ワイヤレスマイク受信機 ビデオ受像機 調光器 など ラック内の温度は+45℃以下になるようにしてください。+45℃を超えた状態で使用を続けると故障の原因となります。
<p>2.天面に取り付ける。</p> 	<p>・付属のラックマウントねじ (M5×12) 4本で取り付けます。WL-R02に付属のねじで取り付けることもできます。</p>  <p><天面></p> <p>・システムラック前面上部に3H以上のブランクパネルを取り付けます。 ブランクパネルは本機奥行き分の目隠し用です。</p> 	<p>天カバーとジャックパネルのねじ (合計10本) を取り外します。天カバーとジャックパネルを付け替えた後、元どおりにねじ止めます。</p>  <p>注：上図に示したねじ以外は外さないでください。</p> 	<p>入出力コネクタ部の位置を変更するときは次の内容に注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 感電の原因となりますので、必ず電源プラグを抜いてから作業してください。 けがの原因となりますので、内部部品のエッジに注意してください。 故障の原因となりますので、内部のケーブルを部品に引っかけたり、天カバーやジャックパネルに挟まないように注意してください。

■ その他のラック・テーブルなどに取り付ける場合

取り付け位置	取り付けた	入出力コネクタ部の位置	注意事項
<p>1.WL-R02以外のラックに取り付ける。</p>	<p>付属のラックマウントねじ (M5×12) 4本で取り付けます。</p> 	<p>入出力コネクタ部の位置 出荷状態 (背面) のまま。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 熱による故障やノイズなどの悪影響の原因となりますので、次に示す機器には隣接して取り付けないでください。 パワーアンプ ワイヤレスマイク受信機 ビデオ受像機 調光器 など ラック内の温度は+45℃以下になるようにしてください。+45℃を超えた状態で使用を続けると故障の原因となります。 ラックの種類によっては付属のラックマウントねじで取り付けることができないことがあります。収納するラックに付属されているねじを使用するか、または取り付けねじを別途ご用意ください。
<p>2.テーブルに埋め込む。</p> 	<p>テーブルに埋め込み用の穴とねじ穴を空け (下図参照) ます。本機を取り付けた後、ねじ止めします (取り付け用ねじは別途ご用意ください)。</p> 	<p>入出力コネクタ部の位置を変更するときは前ページの「■ システムラックWL-R02に取り付ける場合」をご覧ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 入出力コネクタ部の位置を変更するときは前ページの「■ システムラックWL-R02に取り付ける場合」の注意事項をよくお読みください。 テーブル内または埋め込みボックス内の温度は+45℃以下になるようにしてください。+45℃を超えた状態で使用を続けると故障の原因となります。 ジャックパネル面より130 mm以上の十分なスペースを確保し、ケーブルに負担がかからないようにしてください。

仕 様

●基本仕様

電源	AC100 V 50/60 Hz
消費電力	35 W (注)
使用温度範囲	0 °C ~ +45 °C
寸法	480 (幅) × 221 (高さ) × 149 (奥行き) mm (出荷状態, つまみなど突起部含まず)
質量	約7.5 kg
仕上げ	前面パネル ダークグレー色 (マンセルN2.5近似色) その他 黒色塗装鋼板 (マンセルN1近似色)
周波数特性	20 Hz ~ 20 kHz +0.5 dB / -1.0 dB (ステレオ入力) 20 Hz ~ 20 kHz +0.5 dB / -2.5 dB (モノラル入力, 内蔵HPF OFF時)
ハイパスフィルター	70 Hz (全モノラル入力に内蔵)
全高調波ひずみ率	0.1 %以下 (モノラル入力時)
入力換算ノイズ	-125 dB以下 (ソースインピーダンス150 Ω 以下, オーディオバンド22 Hz ~ 22 kHz)
残留ノイズ	-90 dB以下 (すべての音量つまみ、およびフェーダーレベルを絞りきった状態。 オーディオバンド22 Hz ~ 22 kHz)
最大入力	+20 dB以上 (ステレオ入力) +10 dB以上 (モノラル入力, マイク選択時)
最大出力	+24 dB以上 (メイン出力, サブ出力)
クロストーク	-70 dB以下, 1 kHz (隣接チャンネル間)
同相除去比	60 dB以上, 1 kHz (モノラル入力, -60 dB感度時)
最大電圧利得	30 dB ± 3 dB (ステレオ入力) 80 dB ± 3 dB, 1 kHz (モノラル入力, マイク選択時) 60 dB ± 3 dB, 1 kHz (モノラル入力, ライン選択時)

(注) この表示は「電気用品安全法技術基準」に基づくものです。

●入力回路

モノラル入力1~6	6回路, XLR-3-31相当 (平衡), 10 kΩ マイク -60 ~ -20 dB ライン -30 ~ +10 dB
モノラル入力7.8	-60 ~ -20 dB, 10 kΩ, 電子バランス2回路, XLR-3-31相当 (平衡), ファンタム電源内蔵 (ON/OFFスイッチ付き)
ステレオ入力1~4	+10 / 0 / -10 dB, 10 kΩ, 不平衡4回路, ステレオ入力 (L/R), ピンジャック
リターン入力	+4 dB, 10kΩ 不平衡, モノラル入力 1回路, フォーンジャック
サブ入力	+4 dB, 10kΩ 不平衡, モノラル入力 1回路, フォーンジャック

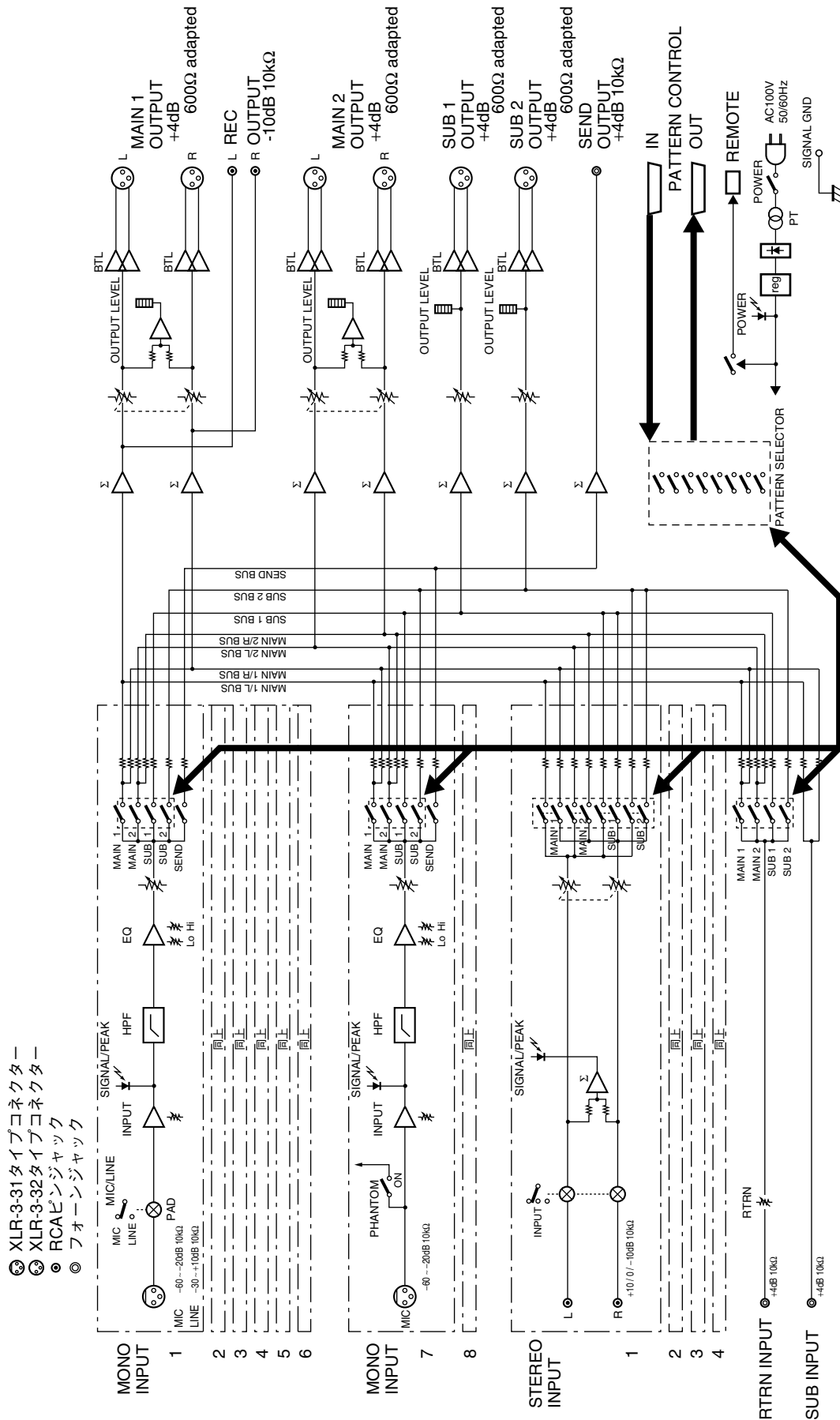
●出力回路

メイン出力	+4 dB, 600 Ω, 電子バランス, ステレオ出力 (L/R), 2回路, XLR-3-32相当
サブ出力	+4 dB, 600 Ω, 電子バランス, モノラル出力 (L/R), 2回路, XLR-3-32相当
センド出力	+4 dB, 10 kΩ, 不平衡, モノラル出力, 1回路, フォーンジャック
録音出力	-10 dB, 10 kΩ, 不平衡, ステレオ出力, 1回路, ピンジャック

●制御入出力回路

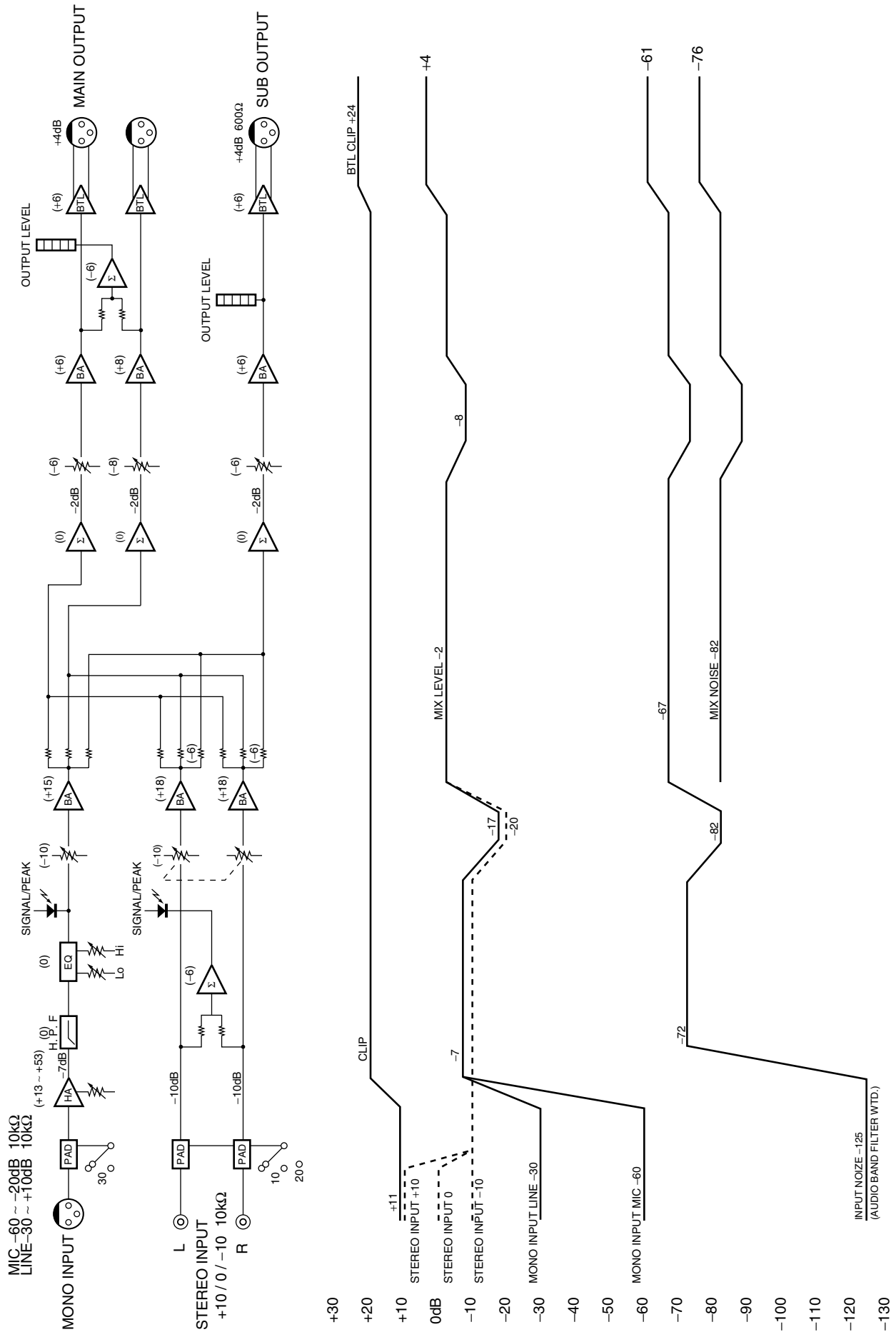
パターン制御入力	マイク接点入力, 8系統, D-SUB 15ピン, 逆流防止ダイオード内蔵
パターン制御出力	マイク接点出力, 8系統, D-SUB 15ピン, フォトカプラオープンコレクタ出力
電源制御出力	マイク接点出力, 1系統, ナイロンコネクター 6ピン, 電源制御ユニット接続用
パターン制御数	8パターン

ブロックダイアグラム



仕様・その他

レベルダイヤグラム



パターン設定シート

- パターンを登録する前に、アサインスイッチのON/OFFの組み合わせを考え、パターンの内容を記入してください。必要に応じてコピーしてお使いください。
- 万一、登録パターンが消去されたり、変更されたりした場合に、パターン設定シートを見ることにより、再度設定できます。

記入日 年 月 日

パターンNo.1 パターン名 []	MONO								STEREO				RETURN			
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4				
	MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>	MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>	MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>	MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>	MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>	MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>		MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>	MAIN 1 <input type="checkbox"/>
	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>

パターンNo.2 パターン名 []	MONO								STEREO				RETURN			
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4				
	MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>	MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>	MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>	MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>	MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>	MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>		MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>	MAIN 1 <input type="checkbox"/>
	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>

パターンNo.3 パターン名 []	MONO								STEREO				RETURN			
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4				
	MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>	MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>	MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>	MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>	MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>	MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>		MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>	MAIN 1 <input type="checkbox"/>
	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>

パターンNo.4 パターン名 []	MONO								STEREO				RETURN			
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4				
	MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>	MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>	MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>	MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>	MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>	MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>		MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>	MAIN 1 <input type="checkbox"/>
	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>

パターンNo.5 パターン名 []	MONO								STEREO				RETURN			
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4				
	MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>	MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>	MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>	MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>	MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>	MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>		MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>	MAIN 1 <input type="checkbox"/>
	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>

パターンNo.6 パターン名 []	MONO								STEREO				RETURN			
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4				
	MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>	MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>	MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>	MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>	MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>	MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>		MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>	MAIN 1 <input type="checkbox"/>
	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>

パターンNo.7 パターン名 []	MONO								STEREO				RETURN			
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4				
	MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>	MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>	MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>	MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>	MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>	MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>		MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>	MAIN 1 <input type="checkbox"/>
	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>

パターンNo.8 パターン名 []	MONO								STEREO				RETURN			
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4				
	MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>	MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>	MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>	MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>	MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>	MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>		MAIN 1 <input type="checkbox"/>	MAIN 2 <input type="checkbox"/>	MAIN 1 <input type="checkbox"/>
	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>	SUB 1 <input type="checkbox"/>	SUB 2 <input type="checkbox"/>

仕様・その他

保証とアフターサービス (よくお読みください。)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

■保証書(別添付)

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのあと保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■修理を依頼される時

まず電源を切ってから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理させていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

ただし、オーディオミキサーの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調節・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品番	WR-X22
	販売店名	電話 () -				

■使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410** バ ナ ハ ヨ イ フ 受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは https://biz.panasonic.com/jp-ja/support_cs-contact

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック コネクト株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック コネクト株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号